



1 舞踊劇「シンデレラ」(北居辺保育所) **2** 音楽「ミュージック
 パラダイス Let's じゃじゃじゃ〜」(上小5年) **3** 音楽「楽しい
 ミュージックボックス」(上小3年) **4** 劇「不思議の国のアリス」
 (上小4年) **5** 合唱「夏のメロディー・未来への賛歌」(上小
 全校) **6** 劇「ガマ王子対ザリガニ魔人」(北居辺小全校)

学 習 発 表 会

10月19日(土)に帯広競馬場で開催された「ばんえい十勝ゆるキャラ選手権2013」にほろんちゃんが初出場しました。

大勢の観客が見守るなか、「必勝」のはちまきをキュッと締めたほろんちゃんは、立派に25mの徒競走を走りきってくれました。



10・11月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
 企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

10月20日

第40回チャリティーダンスパーティー



山村開発センターにおいて、上士幌町社交ダンス愛好会創立40周年記念チャリティーダンスパーティーが約120名の来場で行われました。

この催しは図書館建設のためのチャリティーとして昭和48年に始まったもので、高橋清志代表は「帯広ダンス教室の方々やダンスを愛するみなさんのお力添えでここまでやってこれた。これから7年に1度、実施していきたい。」と話されました。

10月30日

北門小学校児童がチェロの生演奏を体験



北門地区で「ゴーシユ羊牧場」を経営する草野さん夫妻によるチェロコンサートが、北門小学校で開催されました。

大学時代にオーケストラに所属していた草野さんに清水校長が演奏を依頼したことから実現したもので、この日は北門保育所の子どもたちも含む25人が、「となりのトトロ」や「きらきら星」など計4曲を鑑賞しました。

演奏の合間にはチェロの構造を説明したり、子どもたちにチェロを体験してもらおうコーナーも設けられ、上手に音が出せた子どもたちは「すごい！」と驚きの笑顔を見せていました。

11月12日

写真絵本作家の講演会



「森に息づくいのちのつながり」をテーマに活動する写真家・小寺卓矢さんのスライド&トーク「写真絵本にこめた思い」がふれあいプラザで開催されました。

ブックスタートに参加するふれあいプラザ・子育て支援センター・図書館の3施設で企画したもので、講師の小寺卓矢さんは、優しい語り口で作り手側の思いを参加者に伝えていました。読者には感じるままに読んでほしいと願っているそうです。

映像と音楽を流しながらの自作品の読み聞かせも素晴らしく、参加者は穏やかな時間を共有できたようです。講演会終了後には、小寺さんを中心にした参加者の輪ができていました。

給食センターへ

地元食材を提供

J A上士幌町青年部（早坂義人部長）及び有限会社高橋農場の高橋昭博さんより、上士幌町学校給食センターに食材を提供いただきました。提供されたジャガイモと長ネギは、学校給食で活用させていただきました。



▲長ネギ10kgを寄贈された高橋昭博さん (11/5)



▲ジャガイモ 100kg を寄贈された J A 上士幌町青年部 (10/23)



地産地消料理レシピ

農林商工の連携による特産品の開発・商品化の支援の一環として、平成25年2月4日に料理研究家・馬場香織氏を講師に招いて地産地消料理試食会を開催しました。その際に試食した料理を不定期でご紹介します。

ハッシュ・ド・長いも



▲地場産の長いもや豚肉を使ってみましょう

材料 (8人前)

- 長いも…150g × 6(900g)
- 小麦粉…大さじ1 × 6(大さじ6)
- 豚三枚肉薄切り…200g(しゃぶしゃぶ用)
- 塩…適宜
- 胡椒…適宜
- ごま油…適宜

作り方

1. 長いもは皮をむき、5センチ長さの細いせん切りにしておく(3ミリ以下)
2. ボールに「1」を入れ、塩小さじ1、小麦粉を加え良く混ぜる
3. フライパンにごま油を多めに入れ熱する
4. アルミホイルで直径12センチくらいの輪をつくりフライパンに置き、その中に「2」の長いもを入れ、上に豚肉をおく
5. 良い焼き色がしっかりついたら裏返し豚肉の面もしっかり焼く

町では、農林商工連携による新商品の開発に対して支援を行なっています。詳しくは役場商工観光課商工担当(内線241)にご相談ください。

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲北翔大学のサポート教室の充実さに驚いている生徒たち

10月24日(木)～25日(金)にかけて1年生による上級学校訪問が行なわれた。今回は札幌子ども専門学校や北翔大学などを訪問した。

実行委員長の1年B組浅野敦也君は「最初は堅苦しいと思っていたのですが、専門学校の先生が面白い方で、気が楽になりました。今回の上級学校訪問では、今まで知らなかったことをたくさん知ることが出来てすごくためになりました。」と明るく答えてくれた。1年B組担任の加藤真先生は「今回の上級学校訪問では、専門学校、大学どちらも得るものが多く、宿泊を伴う大切な行事でした。全体的に時間を意識して動いている生徒が多くとてもよかったです。これから生徒たちには何気なく1日を過ごすのではなく、卒業までに何をすべきかを考え、ひとつひとつの授業や行事、そして1日1日を大切にすごしてほしいと思います。」とこれからの学校生活について語ってくれた。

10月24日(木)～25日(金)
針路に向けて深く考える

文責 古市 和摩

町民(文)芸

川柳

短歌

ああついに奥歯一本虫歯とふ入れ歯の無きを誇りにせしが
遠くきて土産にせんとて四本の水蛭の足を求めるけふは
今宵満月夕焼けの空も見つつゆくおだやかに暮る十勝野の畑
新婚の孫夫婦夫をたずね来る思いのこもる言葉うれしく
弟より妻の計
計の受話器もとに戻して暫くは魂ぬけるたり暗き夕空
突如初ゆきを降らして過ぎ去りし朝の真青に晴れ渡りたり
宿題がなければうれい冬休み
年賀状愛する友へ想い乗せ
おかあさん牛のおせわでいそがしい
一年の早さに鈍足追いつけず
吹雪でも配達に行くごみ袋
大掃除徐々に始めて一カ月
年金の暮らしへ容赦のない増税
あと七年惚けられません五輪の日
終章にピエロの涙隠してる

平成25年10月末現在の人口

男 2,451人(±0) 人 □ 5,024人(-11)
女 2,573人(-11) 世帯数 2,348世帯(-6)

寄付

▶湯元館は、10月17日に町の振興資金として、ぬかびら源泉郷紅葉まつりの益金の一部となる金2万円を寄付されました。
▶高橋忠男さんは、10月22日に町の振興資金として金30万円を寄付されました。

- ふるさと納税—(敬称略)
- ▶1万円…内藤泰敏(神奈川)、井出康(千葉)、山内直樹(岐阜)、山内直樹(岐阜)、高橋桂子(東京)、南 春植(富山)、広田将司(大阪)、松宮康三(青森)、岩田真也(北海道)、竹野貴久(三重)、渡辺 清(東京)、荘司芳樹(千葉)、上原富夫(静岡)、柴田大輔(東京)、石井重和(神奈川)、貞光貴之(埼玉)、根岸久美子(岩手)、石原敏江(兵庫)、水田博之(鹿児島)、斉藤一生(宮崎)、濱本智子(東京)、加藤裕司(神奈川)、小島善明(静岡)、原 昇(大阪)、渡辺哲夫(山梨)、能町孝司(神奈川)、永坂晴生(愛知)、藤本冬海(東京)、沢田洋介(東京)、小林正徳(三重)、大谷成人(愛知)、西島昭子(東京)、田中宏明(三重)、桑原五男(徳島)、吉田小百合(福岡)、小寺達美(滋賀)、松浦裕二(大阪)、諏訪信洋(栃木)、林 政雄(埼玉)、亀井孝一(神奈川)、西部和廣(神奈川)、吉田富夫(青森)、宮田 收(兵庫)、柴沼友信(埼玉)、吉岡香林(東京)、原田 徹(滋賀)、上地京子(大阪)、久富和宏(東京)、山本恵二(大阪)、多林裕史(香川)、川内敏揮(広島)、折笠定男(神奈川)、佐川公亮(山口)、長岐郁也(東京)、井上隆良(和歌山)、田中広行(石川)
 - ▶2万円…松本将太郎(埼玉)、石井薫子(神奈川)、広川 昇(埼玉)、高嶋能文(東京)、鳥居恵美子(愛知)、荻原直子(東京)、吉原正幸(埼玉)、藤井 健(東京)、山田道明(静岡)
 - ▶3万円…小笠原 学(東京)、荒木 正(神奈川)、谷口 真(奈良)、村上淳一(静岡)、井上明星(滋賀)、辻 幸子(北海道)、納谷百代(東京)、北川 亘(東京)
 - ▶4万円…塚田耕嗣(神奈川)、羽成直行(千葉)
 - ▶5万円…加藤光代(愛知)、榎原 壽(愛知)、上新宜昭(大阪)、野村克己(千葉)、田村 武(群馬)、秋元一視(静岡)、小宮典子(神奈川)、早川秀樹(愛知)、世古康則(愛知)、細野 勝(大阪)、宮本俊八(東京)、竹政健一(東京)、三上雅由(兵庫)、上田裕司(東京)、岩井和枝(千葉)、山田拓郎(福島)、荻原テツオ(東京)、岡田大輔(大阪)
 - ▶6万円…小泉由廣(神奈川)、宮原孝和(岡山)
 - ▶7万円…小川振一郎(東京)
 - ▶8万円…小林克徳(埼玉)
 - ▶10万円…小野健二(神奈川)、渡邊靖裕(北海道)
 - ▶11万円…湯澤勝信(東京)

白坂桜	小小米	高米鈴			
石田	池松	森木	森木	本	高
	い	由	義博	間	木
馨	さ	希	誠真	栞	慶
	子	子	樹也	風	子
	絵	美	弓豊		子



紙上土幌町へのふるさと納税が好調です。紙寄附の動機はさまざまですが、「30年前に新婚旅行で十勝三股に行きました。」という方もいて、同制度を通して町外の方とのつながりを再確認しています。(全国からの応援に勇気づけられる毎日です・・・Y)

紙7ページからの特集を読んでもただたてでしょうか。「がん=死」というイメージがあると思いますが、余命を告げられた方々の中には、5年以上も生存されている方もいるそうです。紙これからも健診の重要性を伝えていきたいと思っています。(まずは、食生活を改善して、病気に罹らない身体づくりをしたいと思います・・・K)

広報 **かみしほろ** 1月号は12月25日(火) 発行予定